指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	村上市コミュニティデイホーム	評価対象年度	平成　28　年度
指定管理者名	村上市レクリエーション協会	所管課	介護高齢課
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日（5年）	評価者（課長）	小田　正浩

①事業実績

利用実績	延べ利用人数　2,480人
サービス向上の取り組み	茶の間支援活動のための研修会に参加し、職員のレクリエーション技術の向上を図り、利用者が元気が出るような活動を展開する。

②管理経費

区分		前々年度（26年度）	前年度（27年度）	当該年度（28年度）	合計	備考
収入	指定管理料	2,700,000	2,762,000	2,762,000	8,224,000	指定期間における指定管理料の総額:13,810千円
	利用料金	500			500	
	自主事業収入					
	その他	307	368	24	699	預金利息
	計	2,700,807	2,762,368	2,762,024	8,225,199	
支出	管理経費	2,554,864	2,636,482	2,561,052	7,752,398	
	（うち人件費）	1,873,000	1,806,500	1,675,600	5,355,100	
	（うち光熱水費）	136,243	85,358	83,825	305,426	ガス、水道、電気、灯油
	（うち修繕費）	18,569	104,756	135,909	259,234	
	（うち委託料）	259,200	233,280	233,280	725,760	施設警備
	（うちその他）	267,852	406,588	432,438	1,106,878	消耗品、切手はがき、電話、消費税、印紙
	自主事業費					
	計	2,554,864	2,636,482	2,561,052	7,752,398	
差引		145,943	125,886	200,972	472,801	

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	4	8.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
	（評価理由） 利用者の安全と居心地の良い環境づくりを第一に考えながら、施設の維持管理を適正に行い、良好に運営を行っている。				
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映してさせているか	8	4	6.4
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
	自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	4	3.2
		利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか			
	（評価理由） 市の委託事業及び自主事業を実施し、高齢者の生きがいづくりや健康づくりを目的に各種事業を行った。周辺住民だけではく荒川、朝日、瀬波地域の住民も参加するなど、各種取り組みが広域的に徐々に認知され、参加者拡大が図られている。また市民や観光客に休憩スペースを提供し、交流の場としても定着しつつある。利用者のニーズ等を把握するため積極的に利用者と会話し、利用者の声を聴き、利用しやすい施設づくりに努めている。				
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費縮減の具体的な取り組みはされているか			
	適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4
		指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか			
	（評価理由） 冷暖房料の節減のために、状況に合わせて室内の間仕切りをしたり、カーテン等を設置するなど工夫をしながら取り組んでおり、経費の節減に対する意識が高く、適切に運営経費の削減が行われている。				

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員（人数・有資格者等）が必要な場所に適切に配置されているか	4	3	2.4
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか（人員配置、マニュアル、訓練等）	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール（規則・マニュアル等）と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	（評価理由） 職員間で独自の研修を開催したり、外部の研修等に参加しながら、職員の知識の向上を図っている。自主事業等の実施については、職員の協力体制が整っており、各種連携をしながらスムーズに運営している。非常時の管理体制については、警備会社との連携を整え、周辺住民との各種協力関係も築いており、適切な管理体制を整備している。また、避難訓練や救急法の実技講習会等の実施により、非常時に備えている。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	（評価理由） 古い建物を維持しながら、利用者の利便性にも配慮し、制約や予算の中で工夫しながら維持管理を行っている。職員は利用者への配慮を行い事故防止に努めている。周辺住民との良好な関係が確立しており、防犯等での協力関係を構築している。				

④総合評価

評価点合計	79.2	評価ランク	B

⑤管理運営に対する全体的な評価

年々利用者も増加しており、高齢者の生きがいづくりや健康づくりの拠点として定着している。施設の管理運営については、利用者の安全に配慮し、居心地の良い環境づくりを考え、様々な工夫をしながら取り組んでおり、経費の節減にも積極的に努めている。また、周辺住民とも友好的な関係を確立しており、防犯等において協力関係も構築している。各種研修等を通じ職員の知識向上を図り、避難訓練や救急法の実技講習等の実施により、非常時にも備えており、適切な管理運営に努めている。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

介護予防の観点からも、利用促進に向けて取り組んでいく必要があるため、今後も民生委員や老人クラブ、長寿大学などへの呼びかけ等様々な形でPRに取り組み、また、既存の自主事業の拡充等を図り、利用者のニーズに合った新たな取り組みを展開しながら、より多くの方に利用してもらえるような施設運営に努めること。人員配置については、施設長（施設管理者）として、デイホームの業務全体の統括に専従する者を必ず置くこと。

記入要領

・「評価段階」は5段階（5～1）により評価を行うこと。

・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク区分

S　95.0以上

A　80.0以上95.0未満

B　60.0以上80.0未満

C　60.0未満